

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

(個別項目)

当社は、「私たちはお客さまや社会が抱える課題に対し、ファインансリューションの提供を通じて解決を図り持続可能で豊かな社会の発展に貢献します。」と経営理念に掲げております。

- ・環境、資源の有効活用に配慮し、脱炭素社会と循環型社会への変革に貢献します。
- ・デジタル化、データの活用とファイナンスサービスを拡充し、新たな価値を提供します。
- ・社会規範および法令を遵守し、高い倫理観を持って社会に信頼される企業をめざします。
- ・従業員一人ひとりの多様性を理解し、働きやすい環境・組織風土の醸成をめざします。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行のは正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とします。

④知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

⑤働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他（任意記載）

- ・お客様の安心・満足・信頼の獲得に努めます。
- ・すべての役職員は、自己変革に努め、お互いを尊重し、チームワークと総合力を発揮します。
- ・企業の社会的責任と環境貢献を常に意識し、持続可能な開発目標達成に向けて、豊かで活力のある未来を創造します。
- ・社会規範と法令を遵守し、公正で自由な競争を心がけ、誠実な事業活動を行います。

2022年4月14日

(2022年10月1日 社名変更による更新)

(2023年4月1日 代表者変更による更新)

(2024年4月26日 ひな形改正による更新)

(2025年4月1日 代表者変更による更新)

三菱電機フィナンシャルソリューションズ株式会社

代表取締役社長 國枝 雅之

企 業 名

役職・氏名（代表権を有する者）

（備考）

- ・本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。